

研修修了OB・OGからのメッセージ

皮膚科 H 先生(2019-2020 年)

関東労災病院での研修は大変充実したものでした。

救急ローテ中や当直では common disease から重篤な疾患まで上級医の監督のもと、ファーストタッチで対応します。さまざまな症例を経験するため、2年間で相当な実力がつくと考えます。

また内科系からマイナー科まで多くの科が揃っています。整形外科が有名なのはもちろんのこと、血液内科や感染症内科等、他の市中病院にはない科での研修も可能です。

更に、研修医同士の仲やコメディカルとの関係も大変良好であり、多くの思い出を作ることができました。

立地も最強です。武蔵小杉や元住吉で必要なものは全て揃いますし、都内や横浜までも電車で10分ほどで着くため本当に便利です。

デメリットは院内にコンビニがなかったことでしたが、一昨年コンビニができました！！これでデメリットは無くなりました。(笑)

皆さんもぜひこのような大変素晴らしい環境での研修も考えてくだされば嬉しいです。全国から多くの学生の方が見学、受験して下さるとを祈っています。

麻酔科 H 先生(2019-2020 年)

こんにちは。私は関東労災病院で初期研修を修了し、現在関東の某大学病院で麻酔科をしています。今回、関東労災病院で初期研修を考えている医学生の皆さんに向けてメッセージを書く機会を頂きました。初期研修を終えてしばらく時間が経ってしまいましたが、マッチングのことで頭がいっぱいだった頃に思いを馳せてみようと思います。

私は大学生までずっと地元で過ごしていましたが、初期研修では関東に行きたいと思い、4年生から病院見学を始めていました。地元は関東からかなり遠い、いわゆる地方大学です。関東労災病院との出会いは確かレジナビだったと思います。当時、好きな臓器がなく志望科が全然決まっていなかったことと、実際に働くと診療科にする印象も変わると思ったので軌道修正できるよう、関東の市中病院で満遍なく診療科がある病院を探していました。病院見学をしているうちに私が考えているようなところでは、研修プログラムの内容はあまり大差がなかったのいくつか病院を絞った後は最終的には環境を重要視して決めました。同期の人数、初期研修医室があること、ローテーションの診療科を選択が早くできること、ICUがあること、見学が1回でいいこと、交通アクセスがいいことや履歴書がメールでいいことも私としてはかなり熱いポイントでした。

初期研修は同期・先輩・後輩にも恵まれ、とても充実した研修でした。同期の当直で気になる症例があればみんなで話し、病棟業務で困ることがあれば先輩や後期研修医の先生に相談しました。指導医の先生方も教育熱心で手技をやらせてもらう機会もたくさんありました。救急外来を始め看護師さんたちも優しく、困っていたら声をかけてもらい、すぐ助かりました。少し物足りなかった点を挙げるとすれば三次救急を学ぶ機会がなかったところでしょうか。他にも変わるといいなと思う点が当時いくつかありましたが、今は改善されています。現場からの声をきちんと拾ってくれる有難い環境だと思います。

私は最終的に麻酔科になって集中治療も学びたいと思い、麻酔科が GICU を持っている現在の大学病院の麻酔科に入局しました。なんのご縁か関東労災病院の麻酔科の医局でし

た。診療科によって医局が違うので、学閥などもなく地方出身の身からすると伸び伸び研修できてよかったですし、ついでに就職先もみつかってラッキーでした。そういう意味でも私と似たような学生さんにはもってこいの環境かなと思います。
長々と書いてしまいましたが、最終的には自分の気持ちに正直になって研修先は選ぶことをおすすめします！頑張ってください！！

整形外科 O 先生(2020-2021 年)

私は 2020 年度、2021 年度に関東労災病院で初期研修いたしました。この文章を書いているときは医師歴 3 年目ということになります。現在整形外科専攻医として半年の大学研修のあとに関東労災病院に戻って勤務させていただいております。

関東労災病院の初期研修ですが、その強みはバランスの良さにあると考えております。規模感も 500~600 床、初期研修医も 1 学年 10~12 人、診療科も一通り揃っております。特別外科系プログラム・内科系プログラムと分かれておりませんでした。選択科で将来を見据えた研修ができる設計になっていました。

専門に進んだ今も、初期研修でバランス良く学んだことが基盤となって助けられていると日々実感しております。当院は特に整形外科の規模が大きく有名ですが、どの診療科に進む方にとっても、良い研修となるのではないかと考えています。